

# 豊能定例会議

10:00～05 臨時社員総会 理事就任 理事会設置  
《代表理事より》

- 10:05～
- ・新規入会紹介《株式会社ソルクシーズ様》
  - ・イベント関連&告知
  - ・横展開WG
  - ・予算関連・進捗
  - ・契約関連
  - ・アンケートの段取
  - ・APIカタログ

《事務局より》

- ・議事録の確認のお願い
- ・JP-LINK勉強会（初級編）4月以降開催予定
- ・個人情報保護法及びガイドライン勉強会  
第1回 2月21日(火)16:00～17:30 第2回 3月2日（木）13:00-14:30
- ・次回現地開催予定 2月2日（豊能町役場）現地参加の方は記載下さい。  
<https://densuke.biz/list?cd=AnUKH4AN7JWKnzHV>

10:45～ 分科会

今後のスケジュール

- ・2月16日 OSPF成果報告会
- ・2月21日 スマートシティと個人情報保護法～法令の概要と体制整備の進め方～
- ・3月2日 スマートシティと個人情報保護法～ガイドラインの解説とFAQ～

CSPFC定款に伴い理事会を運営するに当たり、1名理事の選任が必要のため

理事候補 石田 雄太

デロイトトーマツコンサルティング等会計ファーム、戦略ファームにて多くのBPRや事業再生案件に従事、ソフトバンクなどで新規事業開発を務め、Secure DXの代表取締役役に就任。OZ1取締役 COOとして就任  
一般社団法人 日本・エストニア/EUデジタルソサエティ 推進協議会 理事

## OZCaF INNOVATION CONFERENCE

### ■目的

OZCaF INNOVATION CONFERENCE（略称：OZIC オジック）は、スマートシティ、GX/DXに資する先進的なサービスを展開するOZCaF会員事業者間での未来志向型コミュニケーションを行う対話と繋がりを創出する場。

本事業を通じOZCaFがSDGs・脱炭素等、社会課題の解決と、持続可能な経済成長の両輪を加速させるエンジンとして一層発展すること及び、会員事業者間や自治体との共創、さらにはイノベーション創出の場となることを狙いとする。

### ■開催場所

QUINT BRIDGE（クイントブリッジ）  
住所：大阪市都島区東野田町4丁目15番82号



### ■開催方法

会場開催 100名（先着順）

### ■開催日

2023年3月14日（木）12時00分～17時00分

### ■プログラム

<第一部>（1階スペース）

-パネルディスカッション

00. Opening Session (30分)

01. Global (50分)

02. Smart City (50分)

03. OSPF (50分)

04. Local Government (50分)

<第二部>（2階スペース）

交流会（60分）

### ■共催



### ■後援



「豊能町におけるスマートシティのまちづくり」

参加企業3社  
参加者募集

OZCaFから  
DP/SWAT/Andecoでどうか？  
どうかと



光風台中央公園リニューアルオープン記念イベント

## 豊能町公園マルシェ & リビングラボ

2023年  
1月22日(日)  
10:30-15:30

場所: 光風台中央公園  
(大阪府豊能町豊能光風台2丁目先)

- スマートシティ 取り組み展示
- マルシェ
- 焼き芋 イベント
- ドローン 体験
- ミニライブ
- クローバー 種まき
- 野菜出張販売
- モルック 体験

主催: 豊能町 協力: (一社) CSPFC 及び CSPFC 参加企業  
\*イベント内容は、予告なく変更する可能性があります。





**PROGRAM** OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

**プロジェクト成果発表会** PROJECT

OSAKA Smart City Partners Forum

13:00-13:20 はじめに  
大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長 坪田 知巳

13:20-13:40 Key Note Speech  
「オール大阪での公民連携プラットフォームが公と民の出会いを紡ぐ」  
大阪府スマートシティ戦略エグゼクティブディレクター 吉澤 正登 氏  
「地域社会課題解決に向けた持続可能なスマートシティ・脱炭素社会の実現」  
一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション 代表理事 田中 靖訓 氏

13:40-15:40 プロジェクトコーディネーター企業成果発表

15:40-16:30 プロジェクト推進補助金事業報告

16:30-17:00 大阪府福祉部との事業連携協定締結企業事業報告  
大阪府福祉部長 吉田 真治 他

17:00-17:10 質疑応答/おわりに

※写真撮影、会員交流会あり(会場参加のみ)

日時 2023年2月16日 Thu  
13:00-18:00

会場 QUINTBRIDGE  
(大阪市都島区東野田町4丁目15番82号)

※オンラインライブ配信URL▶

プロジェクトコーディネーター企業

MSSAD 大阪府スマートシティ戦略部  
Blue-CO2 株式会社  
COMPACT SMART CITY  
Digital Platformer  
TOPPAN  
NEC  
大阪公立大学  
DNP  
TIS  
三井住友海上  
東京海上日動

- (1) はじめに  
大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長 坪田 知巳
- (2) Key Note Speech  
「オール大阪での公民連携プラットフォームが公と民の出会いを紡ぐ」  
大阪府スマートシティ戦略/公民戦略連携デスク エグゼクティブディレクター 吉澤 正登 氏  
「地域社会課題解決に向けた持続可能なスマートシティ・脱炭素社会の実現」  
一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション 代表理事 田中 靖訓 氏
- (3) プロジェクト説明(各企業代表者) / 質疑応答
  - ・ **一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会**  
**(子育てしやすいまちづくりほか)**
  - ・ Digital Platformer株式会社 (インバウンド・観光の再生)
  - ・ 凸版印刷株式会社 (インバウンド・観光の再生)
  - ・ 日本電気株式会社 (インバウンド・観光の再生)
  - ・ TIS株式会社 (スマートヘルスシティ)
  - ・ 三井住友海上火災保険株式会社 (高齢者にやさしいまちづくりほか)
  - ・ 損害保険ジャパン株式会社/大日本印刷株式会社 (移動がスムーズなまちづくり)
  - ・ 東京海上日動火災保険株式会社 (安全・安心なまちづくり)
  - ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (データ利活用)
  - ・ 大阪公立大学 (データ利活用)

— 質疑応答 —
- (4) プロジェクト推進補助金事業報告
- (5) 大阪府福祉部との事業連携協定締結企業事業報告  
大阪府福祉部長 吉田 真治 他  
— 質疑応答 —
- (6) おわりに  
— ライブ配信終了 —

<https://smartcity-partners.osaka/20230216-2/>

# 横展開WG：全体

		○：参加希望、×：参加不可、－：検討中 県の場合特定の市町																																				
		大阪府		福井県		茨城県		神奈川県		鹿児島県		愛知県		岐阜県		富山県		石川県		岡山県		兵庫県		栃木県		佐賀県		沖縄県		福島県		北海道		千葉県		東京都		
分科会	企業名	豊能町	熊取町	41市町村	13市町	若狭町	池田町	美浜町	福井市	笠間市	横浜市	鹿児島市	幸田町	養老町	15市町	19市町	真庭市	宝塚市	-	20市町	41市町村	大熊町	札幌市	市原市	館山市	調布市												
見守り (例)	A社	○		○	○					-	-	○	×	×	○																							
見守り	iTSCOM	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘルスケア	I&H	○		○	-	×	×	×	-	×	-	×	×	-	-	-	-	○	-	×	-	×	○	×														
	Movetex	○		○	-	×	×	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	○	-	×	-	×	○	×														
	Y4			○	○					○	○	○	○			○	○																					
	NTTコミュニケー	○			○											○	○																					
	ウェル	○		-	-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	GB																																			-		
子育て																																						
買物支援																																						
デジタル教育	NTTコミュニケー	○																																				
観光	おてつたび																																					
地域経済	Digital Platforme	○		○	○					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
モビリティ	NTTコミュニケー	○		○														○																				
	SWAT Mobility	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	iTSCOM	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ネクスト・モビ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	NOAA	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インフラ																																						
デジタル行政																																						
防災	Y4			○	○					○	○	○	○			○	○			○	○																	
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ連携基盤	OZ1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
プライム (PM)		CSPFC		NTT西							NTT東																											
対象自治体数	167																																					
人口数 (万人)	2,417	2	4	877	78					7	377	156	4	3	105	114	4	23	194	81	146	1	196	27												24		

<https://1drv.ms/x/s!ArcjBPTsqfJchuJKQHK5J0cFLV1Oqw?e=mDKcyN>

横展開希望企業は行の挿入し企業名を記入し、提案を事務局までご提出ください。

入力期限 10月31日→デジ田予算希望自治体へ提案書作成開始

**デジ田向け資料作成予定/ (検討)**

豊能町、(熊取町)、福井県、若狭町、笠間市、横浜市、富山県、(真庭市)

対象自治体は随時増えるので、常に更新予定

\* 基本は豊能町モデル： 収益化も含めて豊能町でしっかり検証 (同じ問題は各地域で起こるので)

**豊能町 (基礎) →福井県・笠間市 (応用) →その他自治体 (展開)**

現在：ふくいコンシェルジュ 2万ダウンロード突破（12月4日現在/11月24日リリース）  
12/22 31,234ダウンロード（会員登録 18,640人：クーポン対象）→4割は一般利用者  
来年40万人向けサービス：是非企業の皆さんのサービス展開に～

## 福井県からのご案内

### 「未来技術活用プロジェクト」

1社300万円くらいの実証実験補助で、導入実証を行いたい。→ふくいコンシェルサービスに入れたい。

CSPFC参加企業で、サービス売込に活用ください。

（実証事業なので、良い評価であれば本事業採択へ）



交通 <input type="checkbox"/>	防災・環境 <input type="checkbox"/>	健康福祉 <input type="checkbox"/>
産業 <input type="checkbox"/>	農林水産 <input type="checkbox"/>	教育 <input type="checkbox"/>
行政 <input type="checkbox"/>	観光・文化 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>



# 福井県

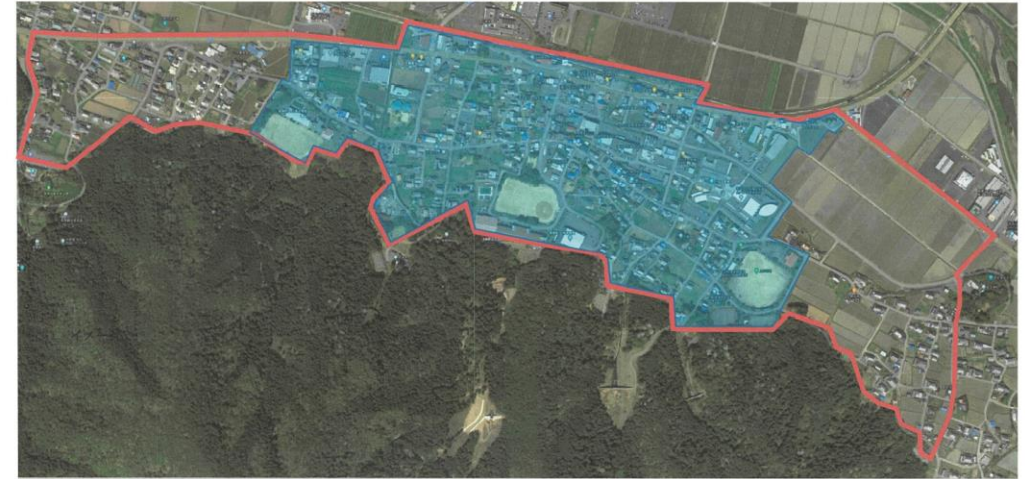
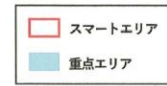
ふくいコンシェルジュ 11月24日リリース

随時サービス拡充や管理画面などは来年度デジ田予算

- ・ヘルスケア： ドコモ（ウォーキングなど）
- ・スポーツ： クーポン
- ・子育て： クーポン
- ・行動変容： DP 地域通貨
- ・モビリティ： 協議会で福井市中心にRYDEから

その他横展開希望企業は事務局までご連絡ください。

①若狭町スマートエリア及び重点エリアの範囲



(若狭町)

地域に無料WiFiを設置（ピコセラに見積依頼中）  
 デジ田予算で先にインフラ整備検討中  
 ローカル5G/地域BWAも視野（NESIC/ITSCOMに見積依頼中）  
 工事費用間に合わず。見送りになる可能性大

(越前市)

電通国際→ブラジル人も多く役所対応、言語対応含めて  
 ふくいコンシェルや色々なサービス活用



## 前半

### ①ヘルスケアによる地域コミュニティ

- ・ MOVETEXのイベント
- ・ Y4のウェアラブル

**予算1,000万円以内で対応@デジ田type1**

### ②ウェアラブル

- ・ 設定方法分からない問題→スマホ教室

### ③スマホ教室

- ・ ドコモとのコラボ（追加コンテンツの可否）
- ・ とよのていねいによるコンサルティング（地域コミュニティの作り方/よろず）
- ・ 学生によるボランティア（景品：ポイントやウェアラブルなど）

→地域ボランティアコミュニティの形成

## 後半

### ④モビリティ改善

- ・ 笠間ファン改修アプリ化（ネイティブ&Web）に各モビリティ関連を繋ぐ。

### ⑤地域ポイント/地域通貨の検討

- ・ ヘルスケア&モビリティでのポイント活用

### ⑥本人確認済みIDの活用

- ・ 対象人口にIDの付与検討/マイナンバーカード普及



## 子育て支援

(NTT東：JP-LINKを使い各サービス連携予定)

→地域間連携：豊能町と連携

資料は豊能町へ提出済み

デジ田申請予定

→内閣府・官房シェア済み

1/26 横浜市Meeting

## 目的・目標

---

### ■目的

「横浜市の妊娠前・妊婦・乳幼児・小学校児童・中学校  
高校生徒の世帯・市民において、**便利さを実感できる  
サービス・情報提供をデジタルにより提供する。**」

### ■目標

- ・ **スマホを通じて**、子育て等に関する**ほぼすべての**（デジタル化可能な限りの）情報・申請手続・サービスを提供できるようにします。
- ・ **保護者・子どもひとりひとりに合わせた**、情報提供、手続き、サービス提供を行い、ユーザーエクスペリエンス（UX：利用者体験）の向上、ユーザーインターフェース（UI：利用画面）の利便性向上をはかります。

## 有田みらいタウン構想 (実装案)

### 行政手続き

- (1) 書かない窓口
- ・マイナンバーカード又はアプリをインストールしたスマートフォンを利用して申請書の作成

### くらしの管理

- (1) 町道・河川等の不具合報告
- ・スマートフォンのカメラ+GPSを使用した不具合箇所の報告
- (2) イノシシ・サルなどの危険動物の目撃情報報告
- ・スマートフォンのカメラ+GPSを使用した不具合箇所の報告

- データ連携
- ・画像データ・位置情報

### 商品券

- (1) プレミアム商品券
- ・経済対策等のプレミアム商品券

### デジタルデバイドの解消

- ・小学校区単位で地域おこし協力隊の配置(4人~5人)
- ・スマホ教室 各種相談
- ・マイナンバーカード取得とアプリのインストール支援

### 行政情報・防災情報

- (1) 町からのお知らせ
- ・地区別・年代別表示
- (2) 各地区への回覧板内容の表示
- ・紙データの電子化
- (3) 防災無線との連携
- ・防災無線のメール配信を表示
  - ・難聴地域対策
  - ・避難情報の提供


### 健康づくり

- (1) 健康づくり介護予防ポイント
- ・紙のポイントカードを地域デジタルポイントへ移行
  - ※当面は商品券をデジタルポイントへ移行する事でシステム面の不備を補完
  - データ連携
  - ・通いの場情報

### 地域公共交通

- (1) 有田ふれあいタクシー(デマンドタクシー)
- ・登録カードをMyDIDへ移行
  - ・回数券を地域デジタルポイントへ移行
  - ・将来的に電話予約からWeb予約へ移行
- (2) 有田町コミュニティバス
- ・定期券をMyDIDと連携
  - ・最初はアナログ的に定期画面の表示
  - ・回数券を地域デジタルポイントへ移行
  - ・Googleマップでの経路案内
  - ・パスロケーションシステム(将来)
  - データ連携
  - ・障害者情報・運転免許返納情報

### スマートフォンアプリ 有田コンシェルジュ(仮称)

- ・ID管理 → MyDID
  - ・マイナンバーカード連携
  - ・地域デジタルポイント(デジタル通貨決済)
- 

### 学校

- (1) 学校用GoogleアカウントとMyDIDの連携
- ・生徒一人一台ChromeBook用に有田コンシェルジュ(仮称)エデュケーション版
  - ・有田焼や文化財のデジタルコンテンツの利用
- (2) 図書カードのデジタル化
- ・図書登録カードをMyDID化
  - ・貸し出し情報が取得できれば利用数に応じたデジタルポイント付与
  - データ連携
  - ・所属学校データ

### 生涯学習

- (1) 図書カードのデジタル化
- ・図書登録カードをMyDID化
  - ・貸し出し情報が取得できれば利用数に応じたデジタルポイント付与
  - データ連携
  - ・貸し出し履歴
- (2) 公共施設予約システムとの連携(まちかどリモート・リモートロック)
- ・利用者IDとMyDIDとの連携
  - ・使用料のデジタル決済
  - データ連携
  - ・貸し出し履歴

ドラフト作成済み



### 事業概要【事業名を記載】

※公表資料として作成すること

3

実施地域	佐賀県有田町	事業費	50,000千円
実施主体	佐賀県有田町、一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会	人口	19,051人
事業概要	<p>少子高齢化が進む本町もデジタルを活用した街づくりを目指して、デジタルサービスを統合するアプリの配備を行い、高齢者から若者まで活用できる環境の整備を進めていきます。統合アプリにデジタルIDを活用することでマイナンバーカードの利用促進、ヘルスケア、見守り、地域通貨、施設予約など様々なサービスを配備します。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【コンシェルジュアプリサービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統合アプリ（ありたコンシェルジュ） 色んなサービスを統合し、イベント情報等も配信が行えるサービス</li> <li>デジタルID（eKYC） マイナンバーカードを活用して本人登録</li> <li>デジタル地域通貨・ポイント</li> <li>Otta見守りサービス</li> <li>ヘルスケア/介護予防 歩数ポイントやヘルスケアイベント等</li> </ul> <p><b>【XXXXシステム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統合アプリ（ありたコンシェルジュ）</li> <li>デジタルID（eKYC）</li> <li>デジタル地域通貨・ポイント</li> <li>データ連携基盤</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> </div> </div>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①ありたコンシェルジュのダウンロード数（1000人） ②スマホ教室・施設活用（累計200人） ③</p> <p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①コンシェルジュの満足度（3点（5点満点）） ②スマホ教室満足度（3点（5点満点）） ③</p>		

### サービス概要（X/X）

5

■ サービス内容		サービスが複数ある場合は、サービスごとに1枚ずつ作成すること
サービス名	デジタルデバイス対策サービス	事業費 11,500千円
ターゲット	主に高齢者を中心にデジタルが苦手な住民を対象	
展開エリア	佐賀県有田町	
サービス内容（事業分野：②住民サービス）		
<p>デジタル活用において、まずはスマホを利用する環境が必要不可欠になります。ただ、高齢者の多くはスマホが上手く使えないため、通信キャリアと協力してスマホ環境の改善を行います。また、地域コミュニティ形成を同時に行うために、街の学生にも参加頂き、通信キャリアでは難しい個別対応がおこなえる環境を整備していきます。有田町多世代交流センターなどを活用して若者と高齢者の地域交流を深めていきます。</p>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>eスポーツを活用して若者のインセンティブを構築</li> <li>手の空いたる若者が高齢者のスマホよろず相談</li> <li>eスポーツを高齢者と一緒に楽しみ、多世代交流の促進</li> <li>地域eスポーツチームができれば自治体と地域交流</li> </ol>		

### サービス概要（X/X）

6

■ サービス内容		サービスが複数ある場合は、サービスごとに1枚ずつ作成すること
サービス名	統合アプリ（サービス連携基盤）の整備	事業費 23,500千円
ターゲット	主に高齢者を中心にデジタルが苦手な住民を対象	
展開エリア	佐賀県有田町	
サービス内容（事業分野：②住民サービス）		
<p>有田町統合アプリ（ありたコンシェルジュ（仮））とデジタルIDの配備を行い、スマホ教室やデジタルデバイス対策サービスで構築した地域コミュニティでアプリのインストールから登録を行うと共に、地域課題の具体的な内容を把握しサービス改善をおこなう政策のきっかけづくりになるアプリを配備します。</p> <p>ありたコンシェルジュには、街のデジタルサービスを統合し住民接点を一本化することで、利便性の向上や住民アンケート等も整備し双方向でデジタルを考えていける環境が整います。</p> <p>直近のありたコンシェルジュにおいては、デジタルID（eKYC）による本人確認をマイナンバーカードで行うことで、マイナンバーカードの普及やデジタル地域通貨、歩数によるヘルスケアポイントの配備を行います。</p>		

### サービス概要（X/X）

7

■ サービス内容		サービスが複数ある場合は、サービスごとに1枚ずつ作成すること
サービス名	高齢者見守りサービス	事業費 15,000千円
ターゲット	学生及び高齢者の見守りを必要とする家族	
展開エリア	佐賀県有田町	
サービス内容（事業分野：②住民サービス）		
<p>有田町では教育委員会主導で、Ottaの見守りサービスをスタートする予定です。まずは小学校4校の登下校の見守りサービスを行います。今後地域の見守りスポットやスマホが受信局となり見守りスポットが行えるように本事業として整備を進めます。ありたコンシェルジュとOttaアプリを連携させて住民の利用を促進すると共に、高齢者の見守りにも取組を行います。</p>		

CSPFC/OZ1のリソース問題もあるので、徐々に他地域検討

\* デジ田予定

大阪府内自治体

ORDENとの連携待ち。9月上旬（総務省：交付決定待ち）→12月には交付決定予定→調達申請後各社への発注。（12月中には発注したい）

他自治体からの要望もORDENと一緒に総務省に答えているため、対応できず。。。NTT西日本と対応検討中

熊取町→ポータルアプリの検討。デジ田も今後検討。

他自治体含めて対応検討→大阪Myポータルを作り、一部自治体向けサービスを共同調達（ヘルスケアなど）

→大阪ゼロカーボンファンデーション（CSPFC賛助会員参加）とポータルアプリ+サービスで大阪府内の自治体への展開

富山県\*

見積説明済み。（他質問待ち）

石川県

\* DP松田さん調整

岡山県 真庭市\*

詳細確認中→来年度予算対応（まちと学びのイノベーション研究所）

岐阜県 養老町\*

愛知県 幸田町\*

大垣共立銀行中心に岐阜のスマートシティ化（幸田町：これから/養老町：Type1お代わり。地域通貨+交通+α）

ヘルスケアの資料を送付。今後説明会や相談など発生する可能性あり

東京都 調布市

MUFGコンサルティングへヘルスケア含めたデータ連携の説明。改めて調布市入れてMeeting。

栃木県

知事とMeeting（11月頃）→江川時間なく12月へ。。。→1月へ。。。。

佐賀県

11月24日視察。各市町からも参加（16名参加）。有田市他、CSPFC参加準備中

鹿児島市

再調査中

千葉県 館山市

NOAAと協力して展開検討

カンボジア

シェリムアップ市観光からのスマートシティ→日本工営主体で現地関係者ともMeeting中→17日15時からMeeting

台湾

12月7日 来日（日程変更）

# 予算関連

## デジタル田園都市R5年度予算

1. 公園および周辺→地方創生拠点整備  
 拠点整備タイプ 5億 (10億円) 1/2  
 要件：官民協働 (PFI活用加点) / デジタル社会の形成  
 (申込締切1月中下旬：他より少し早い)
2. デジタル実装タイプ  
 今年もType3→マイナンバーC.新規用途開拓を中心に作成  
 (7割だと3億円100%補助。。。)
3. モビリティ→Society5.0タイプへ移動→**デジタル実装に戻す**  
 3億 1/2  
 マイナンバーC含む利用



## 公園

拠点整備 (補正) : 2.4億円で申請済

## マイナンバーカード横展開

3億円? 申請します

## Type3 ICタグ活用→サービス改修費

6億円? 申請します

## 再度、予算についての考え方

OSPFでの江川の説明： 自治体負担をなくし、民間活動で維持できることを考える。  
 自治体の資産になるものは自治体とよく話をして予算を考える

## 豊能町：

予算を組む場合、小さい自治体では予算が厳しいため、既存事業に組み込めるかがポイント  
 そのためには原課対応サービス内容を良く理解し、サービスに寄り添わせる形が望ましい  
 新サービスは、既存サービスの予算を削る可能性が高くなるため、付加価値が問われる

その他：PERSONAL-LINK (都市OS) の改修 ネイティブアプリからWebアプリへの変更  
 →12月末仕様書開示、4月β版、6-8月本番環境  
 (利用者が色々アプリダウンロード大変なのでWeb化)

基本的に自治体が行うサービスは住民サービスで、住民が受益者となるので、可能な限り**受益者負担**になるように事業を確立を考えてください。  
 (助成金は、事業立ち上げを支援する部分までなので、自走できるように工夫が必要です)

## 総務省

(令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業に係る採択候補の決定)

### 大阪府豊能町

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

\* 真子事務局長が各社との調整中。各社ご対応お願い致します。

交付決定（内定） 12/7

交付決定 12/20

調達申請OK

## 内閣府

未来技術社会実装事業 採択

→令和3年11月24日に第1回地域協議会開催

→令和4年2月24日に第2回

## デジタル田園都市国家構想交付金

## 国土交通省（都市局）

「新モビリティサービス事業計画策定支援事業」へ採択 →交付決定



(デジ田)

- 3月1日 各社報告書完成（遅れる場合は事務局相談）
- 3月10日 CSPFC報告書完成予定
- 3月10日～ 豊能町レビュー

※詳細日程事務局からの案内にて


(総務省)


- 2月14日～ 会計監査 R3年度分
- 2月20日頃 中間監査
- 3月20日 CSPFC報告書完成予定
- 3月30日～ 総務省書類提出


【実施計画】


令和5年3月17日（金）


※最終版（軽微な変更を含む）を提出してください。


 ①実績報告書（要綱別記様式第8,9）.docx


 ①'実績報告書（要綱別記様式第8,9）記載例.docx


 ②実績報告（要綱別紙様式II）.xlsx

 ④実績報告添付様式（TYPE1）.xlsx


 ④実績報告添付様式（TYPE23）.xlsx

 ⑤支出状況調査.xlsx

 ⑥精算払請求書（要綱別記様式第12）.docx

 ⑥'精算払請求書（要綱別記様式第12）記載例.docx

 国【事務連絡】デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）の実績報告等の手続きについて.pdf

 国【別添】デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプ実績報告の提出先及び提出方法.pdf

9月10月にアンケート内容検討・構築（サービス内容&満足度） 14日アンケート原案ください

11月～12月 アンケート構築（自動集計検討）・第1回アンケート実施

1月～2月 第2回目アンケート実施

2月～3月 第3回目アンケート実施

1月～2月（ほぼ完成版に・CSPFCと各社調整）、3月 報告書作成（完成版）

基本アンケートはGoogleアンケートをとよのんコンシェルジュにリンク

（現状アンケートリクエスト）

- ・モビリティ（受け取り済み）
- ・公園整備（受け取り済み）
- ・地域通貨（受け取り済み）
- ・見守り（受け取り済み）
- ・ヘルスケア（受け取り済み）



現在、第1回アンケート作成中

2月～3月に一括で対応検討

デジ田含めてKPIでアンケートが記載されている分科会はアンケートお願いします。

APIアクセスデータの自動集計は11月実装予定（JP-LINKの実装が一部発生）

APIカタログ：データ公開範囲（10月までにFIX）

11月から課金スタート??。（総務省から厳しく指摘有り）

JP-Linkが公式版に移行：詳しくはTechoz1から  
11月からようやく自動集計？

急ぎではないが、最終報告書作成するのにAPIカタログを作成する際にも活用するので、徐々に作成をお願いします。

また、他社サービスとの連携の際にご活用ください。  
JP-LINKポータルコミュニティにも反映されます。

項目	内容	このシートをコピーしてご利用ください
分野(分科会) ※ 必須		
記入日		
記入者氏名 ※ 必須		
記入者所属 ※ 必須		
環境区分(開発環境 or 本番環境) ※ 必須		
提供予定時期		サービス提供開始予定時期やローンチ予定時期をご記入ください。
自由記入欄		
サービス提供企業(Service Provider) ※ 必須		
企業名		
メンバ(ーコード		
サービスについて		
サービス名称		
サブシステムコード		
サービス概要 ※ 補足情報		
サービス実現に必要なデータ (データの種類など概要的なものでも可)		サービスに必要なデータの概要や種類についてご記入ください。(細かいデータ項目について、下に記載する欄にご記入願います。)今は存在しないサービスでも、「こんなデータがあれば、こんなサービスは提供できそう」のような記載でも構いません。
データ保有企業(Data Provider) ※ 必須		
企業名		データのストア先データ管理企業・機関の名称をご記入ください。
メンバ(ーコード		
データサービスについて		
サービス名称		
サブシステムコード		
データサービスコード		どのデータ項目を提供するかを示すアウトプットパラメータ(GetUserInfoのような関数/API)
データ項目について		
データ項目		具体的なデータ項目についてご記入をお願いします。項目数が多く、別途Excel/CSVなどで管理している場合、その旨をお知らせください。
データ保有期間(過去何年分など)		
現在のデータ形式 (連携している業界標準を記載(ある場合))		

# CSPFC事務局からの案内



## 対象企業：

NESIC様、OTTA様、I&H様、Y4.com様、イッツコム様、とよのていねい様、DP様、NTTコミュニケーションズ様、SWAT様、アンデコ様、ISID様、アスコエパートナーズ様、大阪NDS様、

1月19日（木） 報告書雛形送付

2月21日（水） 第1回報告書（素案）提出期限

2月22日（木）～9日（木）調整

3月10日（金） 第2回報告書提出期限

3月11日（土）～24（金）各社様と最終調整

3月27日（月）～30日（木）事務局最終調整

3月31日（金） 豊能町へ提出

対象企業：NESIC様、三井住友海上様

2月20日（月） 総務省中間検査（CSPFC対応）

2月27日（金） 実績報告書暫定版提出 NESIC、MS → OZ1 → CSPFC

以下、CSPFC対応

3月6日（月） ○最終検査資料データ（※1）をメール提出  
（実績報告書（案）は日付空欄）

3月6日（月）～24（金） 最終検査

3月27日（月） 実績報告書（日付入り）提出

3月31日（金） ○最終検査資料データ（実績報告書を除く）をメール提出

2022年 1月

19日 定例会（WEB） ※午後：DX推進方針原課ヒアリング

26日 定例会（WEB）

2月

2日 定例会（役場本庁 大会議室） <https://densuke.biz/list?cd=AnUKH4AN7JWKnzHV>

9日 定例会（WEB）

16日 定例会（WEB）

22日（水） QB（予定）

スマートシティの取組みは豊能町とCSPFCとの連携協定をもとにおこなっております。  
今後月例で原課にも分科会参加を予定します。

- ・ 各原課とのMeeting希望時の流れ  
企業→CSPFC事務局→まちづくり創造課→原課  
(状況把握のため、できる限り事務局同席でお願いします。オンラインで繋ぐなど)

## 原課とのMeeting注意点

企業から直接のコスト提示/交渉を原課と調整は行わない。

交付金や助成金の割り当てがあるので、CSPFC事務局とまちづくり創造課で確認が必要

- \* コスト提示を原課と企業単独で行うと割り当てができず、案件が止まります。
- \* 助成金の場合は、CSPFCが半額補填、国が半額補填しているので、割り当てができません。  
CSPFCの補填は執行理事会および事務局での確認が入ります。  
国からの予算（補填）：
  - ・ 各省庁の基本方針に従う。（横展開向け、新規性追求、実装/実証など）
  - ・ 予算の重複は、不可事項です。（予算の2重取りは禁止。場合により法的に裁かれます）
  - ・ 条件成立しない場合は、補助額返還を求められます。
- \* 企業がCSPFCに半額補填してでも行う事業がある場合は別途相談ください。

1. 見守り（NECネットエスアイ） アイテック 阪急阪神 ミマモルメ Otta
2. ヘルスケア（I&H） Green Bioanalytics Maria スパーク Y4 ウエルグループ イッツコム  
ドコモ MOVETEX Nocode Japan アスコエ、ファイテン
3. 子育て（OZ1） （デジタル行政）
4. 買物支援（三井住友） ビットキー
5. デジタル教育（OZ1） NoCodeJapan とよのていねい
6. 観光（おてつたび） OZ1/東武トップツアー
7. 地域経済（Digital Platformer） とよのていねい NoCodeJapan ドコモ
8. モビリティ（ドコモ） SWAT Mobility OZ1 アイサンテクノロジー ネクスト・モビリティ イッツコム NOAA
9. インフラ（OZ1） アンデコ
10. デジタル行政（電通国際） NECネットエスアイ アスコエパートナーズ OZ1 セイコーソリューションズ NoCodeJapan  
大阪NDS
11. 防災（三井住友） イッツコム
12. セキュリティ委員会 トレンドマイクロ NECネットエスアイ アクリート



# 分科会